

# 多文化共生社会を支えるために Part2

## ～自分にできること 自分だけではできないこと～

外国人児童生徒支援リソースルームでは昨年度の講演会『多文化共生社会を支えるために～「知る」ことから未来につなげよう～』の第2弾として、自分にできることはもちろん、自分だけではできないことにも着目し、多文化共生社会へのさらなる一歩を考えていきます。

2022年 **11月25日(金)**

18:00～20:00 (受付 17:30～)

愛知教育大学 教育未来館3階 多目的ホール

定員 70名

対象

本学学生、教職員、一般

参加無料

### ★ 第一部 18:00～19:00 サヘル・ローズさん講演 「思いに、国境はない」

《サヘル・ローズ 俳優/人権活動家》

1985年イラン生まれ。7歳までイランの孤児院で過ごし、8歳で養母と共に来日。芸能活動の傍ら、国内外問わず支援活動にも力を入れている。養母・フローラの「世界には恵まれない人が沢山いるから旅をしなさい」という言葉をきっかけに、2009年初めてインドへ。

※これまでに支援で訪れた国

2009年インド 2012年カンボジア(孤児院) 2018年インドネシア

2019年バングラデシュ(学校建設の支援)

2019年ヨルダン(難民キャンプ内の学校支援)とイラクへ訪問

2022年スロベニア・ウィーン・ポーランド(ウクライナの避難民への支援)

国内でも様々な支援活動を続け、2022年7月には児童養護施設出身の方々に向けて手料理を振る舞う「おせっかい食堂」を企画し、開催。

国際人権NGO「すべての子どもに家庭を」の活動で、親善大使を務めた経験もあり、公私に渡る支援活動が評価され、2020年にはアメリカで人権活動家賞を受賞。



### ★ 第二部 19:10～20:00 発表・グループディスカッション

発表者

卒業生の安藤瑠香さん  
(愛知県職員)

発表者

卒業生の遠藤真さん  
(豊明市小学校教諭)



発表者

在学生の林大聖さん  
(初等教育教員養成課程)

☆ 第二部にもサヘル・ローズさん  
にご参加いただきます。

お申し込み方法は裏面をご覧ください。

## お申し込み方法（定員になり次第受付終了）

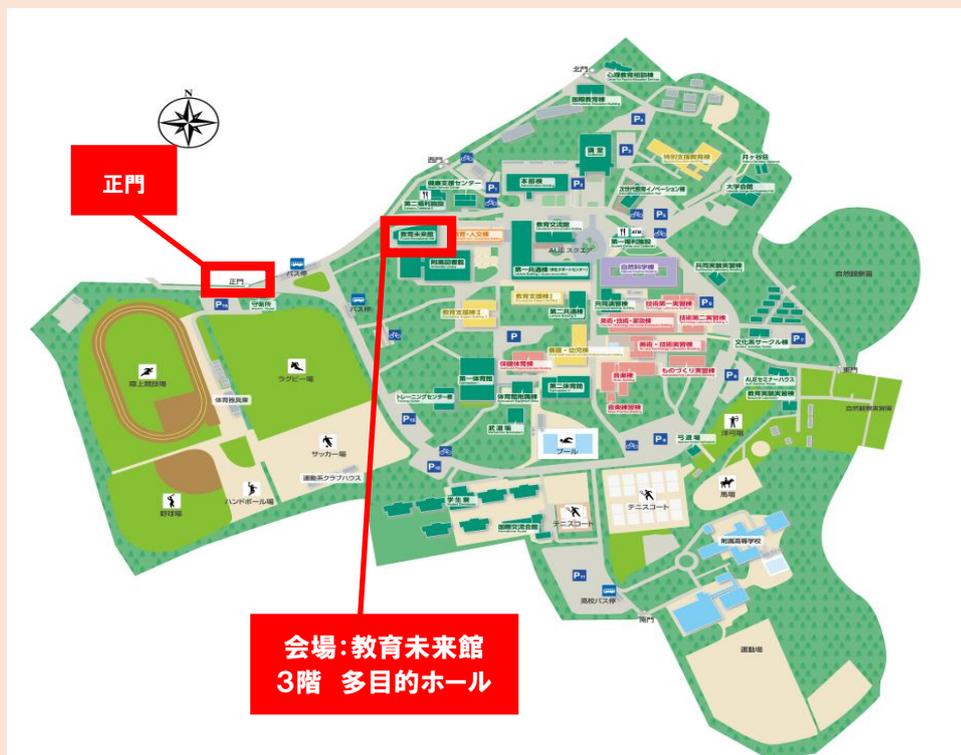
※いずれかの方法でお申し込みください。

- ① 右の QR コードから直接申込フォームにアクセスし、必要事項を入力してください。
- ② リソースルームの HP 上にある申込フォームより、必要事項を入力してください。

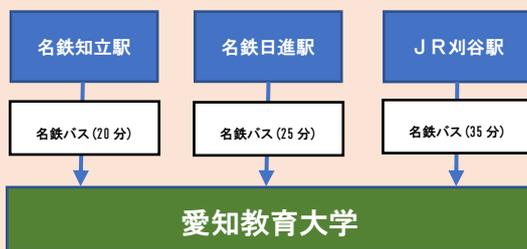


HP: <https://resource-room.nihongo.aichi-edu.ac.jp>

## 学内マップ



### 公共交通機関でのアクセス



※日進駅・刈谷駅からのバス便数が1時間に1本程度です。ご注意ください。時刻表などでご確認ください。

### 新型コロナウイルス感染症対策に関するお願い

- ・新型コロナ感染拡大状況により、中止又は開催方法が変更になる可能性があります
- ・マスクの着用、入室時のアルコール消毒にご協力をお願いいたします
- ・大声での会話はお控えください
- ・発熱、咳、頭痛など体調不良の場合は参加をお控えください
- ・会場は随時換気いたしますのでご了承ください

この講演会は、科学研究費補助金 基盤研究(C) 研究代表者：川口直巳「学生は多機関との連携にどう関わることができるか—外国人児童生徒の支援に向けて—」(課題番号 18K00686) の一部助成を受けて開催するものです。

お問い合わせ先 愛知教育大学 日本語教育支援センター 外国人児童生徒支援リソースルーム  
住所: 〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1 TEL:0566-26-2219 (平日 12:30-17:30)  
HP: <https://resource-room.nihongo.aichi-edu.ac.jp> Mail: [gendaigp@aecc.aichi-edu.ac.jp](mailto:gendaigp@aecc.aichi-edu.ac.jp)